

3回目のワクチン接種や地域経済・観光対策

宇治市議会の12月定例会が11月30日開会しました。

開会日の本会議では、新型コロナ関連の補正予算、総額6億4,080万円が提案され、全会一致で可決しました。

3回目のワクチン接種体制整備

補正予算では、新型コロナの3回目のワクチン接種にむけた費用が計上されています。

宇治市では、65歳以上で2回目の接種を完了した人が95.5%となっており、12歳以上65歳未満では80.4%で、全体では85.3%の住民が2回目接種を完了しています(11月21日時点)。

市は3回目の接種は、18歳以上で2回目接種完了から原則8カ月以上経過した方を対象としており、11月29日に2回目の接種を完了している医療従事者2千人に接種券と予約案内を発送しました。

その後、1週間から2週間おきに、8カ月後に3回目の追加接種を受けられるように順次、住民に接種券と予約案内を発送します。

接種体制は、1回目2回目の接種と同様に集団接種と個別接種を併用しておこない、集団接種会場の市役所へは主要駅からの送迎も実施する予定にしています。

本格的に一般の高齢者の方などの追加接種が始まるのは来年2月頃となる見通しです。

また、職域接種で1回目、2回目を接種した方についても、3回目の接種を市の個別接種・集団接種で受けられるようになります。

市内経済観光対策・事業者支援

市内経済の対策としては、プレミアム付デジタルクーポンの発行事業をおこないます。

5千円で販売するクーポンに2千円のプレミアムをつけ7千円分の買い物や食事に利用できる制度です。

12月から事業者を募集して、市内の幅広い飲食店や小売店、サービス事業者で利用ができるように計画しており、来年1月頃から販売を開始する予定です。

プレミアム付デジタルクーポンはスマートフォンで利用でき、全体で5万セット(1人につき4セットまで購入可能)を販売します。

同時に、スマートフォンが使えない方に向けては、商店街などが実施するイベントや販売促進事業にたいして、上限200万円までを補助する制度をつくりまします。商店街や商店の割引券の発行などに使える制度です。

観光促進事業として、宇治市を観光地として売り込むために、雑誌への特集記事、公共交通での観光広告、インターネットなどの広告掲載をおこなう予算も提案されています。

さらに、米価の下落に対応して、宇治の「こだわり米」を宇治市内のJAに出荷した市内農業者に、30キロあたり400円を補助金として支給します。

市民のいのち暮らしを守るため全力

日本共産党宇治市議員団は、新型コロナから市民のみなさんのいのちと暮らしを守るために、引き続き全力をあげます。

お困りごとやご意見など、日本共産党へとお寄せ下さい。

